

9.18 事件公開学習会

遺族たちの悲憤

～忘れられない記憶～

45歳で徴兵された熊田郁子さんのお父さんは沖縄への船が撃沈。
西川重則さんのお兄さんはビルマ戦線で敗戦後の9月に戦病死。
戦中の日々の体験を交えて、
お二人から遺族としての想いを語って頂きます。

証言者

熊田郁子さん、西川重則さん

日時：9月22日（土）午後2時～4時（開場午後1時半）

会場：日本キリスト教婦人矯風会地下集会室

東京都新宿区百人町2丁目23-5

JR「大久保駅」徒歩1分

参加費：500円

どなたでもご参加ください



共催：キリスト者遺族の会・日本キリスト教婦人矯風会

連絡先：080-5412-9386(坂内)

知っていますか、

キリスト教婦人矯風会

1886年、アメリカの禁酒運動家の演説をきっかけに、禁酒だけでなく、一夫一婦制や公娼制度廃止を目指して「東京婦人矯風会」が創立されました。キリスト教の精神に基づき女性と子どもの人権を守り、その福祉への貢献を目標として活動しています。

- ① 武力に依らない平和を願い、多民族共生の21世紀を創ります。
- ② 性の尊厳を保って自由・平等に生き、性差別、性暴力をなくすため、女性の家HELP、矯風会ステップハウスを営んでいます。
- ③ 酒や薬物への依存症についての啓発活動を行うと共に、子供や家族への影響に関わる相談に応じています。

知っていますか、

キリスト者遺族の会

- ① わたしたちは戦争の惨禍を最も深く知らされた戦争犠牲者として、戦争を否定し、平和の実現を旨とする日本国憲法の根本精神を継承すべく努力します。
- ② わたしたちは、戦争犠牲者がわたしたちだけではないことを銘記し、広く戦争犠牲者の遺族と手を結ぶと同時に、戦争を否定し、平和を造り出す意志を次の世代に伝え、平和国家建設のために尽くすことを誓います。
- ③ わたしたちは、戦没者が、アジアの隣国に対する日本の侵略戦争に参加し、多数の隣人を殺害した加害者であったことも忘れず、深い悲しみと悔恨の心をもって、再び、このようなことをくり返さないように、民族・宗教の枠を超えて遺族による新しい運動を展開する決意を表明します。

<1975. 8. 15『戦没者遺族宣言』より>